

京都市民長寿すこやかプラン 推進協議会	
第4回(H24. 2. 24)	資料4

～高齢者を総合的に支える地域の身近な相談窓口～

地域包括支援センターの「愛称」と「シンボルマーク」が決定しました!!

高齢者を総合的に支える地域の身近な相談窓口である「地域包括支援センター」を、高齢者や高齢者を支える方々に広く知っていただくため、親しみやすく、分かりやすい「愛称」と「シンボルマーク」を募集したところ、市内はもとより、全国から「愛称」85作品、「シンボルマーク」49作品、合計134作品にのぼる、多くのご応募をいただきました。

この度、選定委員会の選定により、地域包括支援センターの「愛称」と「シンボルマーク」を下記のとおり決定しましたので、お知らせします。

記

1 「愛称」

「高齢サポート・〇〇」

※「〇〇」には、「御池」、「本能」等のセンター名が入ります。

【選定理由】

- ・地域包括支援センターの業務内容や対象者が分かりやすい。
- ・短い言葉で覚えやすく、分かりやすい。

※選定委員会での意見を踏まえ、最優秀作品「^{こうれい}幸齢サポート・〇〇包括」を補作しています。

- ・対象者を明確にするため、「^{こうれい}幸齢」を「高齢」に変更
- ・より短い愛称とするため、正式名称と重複する「包括」を削除

2 「シンボルマーク」



【選定理由】

- ・地域包括支援センターの機能をよく表している。
- ・高齢者をあたたかく支えるイメージが伝わる。
- ・高齢者を包み込んでサポートするという事が上手く表現されている。

※選定委員会での意見を踏まえ、最優秀作品を補作しています。

3 応募状況等

- (1) 募集期間 平成23年12月20日(火)から平成24年1月31日(火)まで
(2) 応募作品数 134作品(「愛称」85作品,「シンボルマーク」49作品)
(3) 実応募者数 51名(男性30名,女性18名,グループ3)
(京都市内32名,京都市外19名)

4 選定結果

(1) 愛称

【最優秀作品(1点)】

「^{こうれい}幸齢サポート・〇〇包括」

櫻井美穂子さん(大阪府島本町)

【優秀作品(2点)】

「あんしん包括ケアセンター」

宮本光歩さん(滋賀県近江八幡市)

「ながいきサポ」

森田和城さん(京都市伏見区)

(2) シンボルマーク

【最優秀作品(1点)】

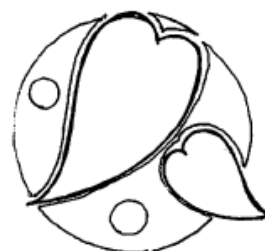


堀江 豊さん(広島県廿日市市)

【優秀作品(2点)】



工藤和久さん(青森県弘前市)



畑 一夫さん(京都市北区)

5 選定方法

「京都市地域包括支援センター愛称・シンボルマーク選定委員会」の選定により決定しました。

(参考)京都市地域包括支援センター愛称・シンボルマーク選定委員会名簿

	氏 名	所属団体, 役職など
委員長	源野 勝敏	京都市地域包括支援センター・在宅介護支援センター 連絡協議会会長
委員	荒牧 敦子	公益社団法人認知症の人と家族の会京都府支部代表
//	北川 靖	社団法人京都府医師会副会長
//	高井 節子	京都市立芸術大学美術学部講師
//	羽賀 進	一般社団法人京都市老人福祉施設協議会会長
//	浜岡 政好	佛教大学社会学部教授
//	藤井 さよ子	社団法人京都府介護支援専門員会常任理事
//	古川 美佳	京都市地域包括支援センター・在宅介護支援センター 連絡協議会副会長
//	足立 裕一	京都市保健福祉局介護・医療企画担当局長
//	壁 純一郎	京都市保健福祉局長寿社会部長

（参考）愛称・シンボルマークの使用イメージ

＜例：御池地域包括支援センター＞



京都市御池地域包括支援センター

高齢サポート・御池